

## 平成12年度 年報

### 事業報告

#### 展覧会事業

##### ・常設展

#### 第1期 2000. 4/1(土)～6/25(日)

前期 4/1(土)～5/14(日) 後期 5/16(火)～6/25(日)

展示室1 新収蔵品を中心に

展示室2 振幅 具象と抽象

展示室3 版画の楽しみ

前期 銅版画の魅力 後期 木版画の魅力

#### 第2期 2000. 6/27(火)～9/10(日)

前期 6/27(火)～8/6(日) 後期 8/8(火)～9/10(日)

展示室1 日本画コレクションの精華 I・II (前期・後期)

展示室2 特集 絵の中の生きものたち

展示室3 前期 神の視線 空間は語る

後期 現代の版画 60年代以降

#### 第3期 2000. 9/14(木)～12/24(日)

前期 9/14(木)～11/5(日) 後期 11/7(火)～12/24(日)

展示室1 前期 描かれた女性たち

後期 祈りの表現

展示室2 大正から昭和にかけての人物像

展示室3 前期 エッフェル塔とパリ

後期 特集 池田満寿夫

#### 第4期 2001. 1/4(木)～3/25(日)

前期 1/4(木)～2/12(月) 後期 2/14(水)～3/25(日)

展示室1 前期 小林古径・土田麦僊・横山操

後期 新潟の日本画 江戸からの流れ

展示室2 特集 新潟の人と風景／佐藤哲三を中心に

展示室3 戦争の諸相

前期 コルヴィッツと小野忠重の木版画

後期 浜田知明を中心に

・企画展(詳細はトップページの「今までの企画展」をご覧ください)

2000. 4/15(土)～5/28(日)

広川松五郎・高村豊周 展

2000. 7/1(土)～8/20(日)

麻田鷹司 展

2000. 9/15(金)～11/5(日)

ナビ派と日本

2000. 11/18(土)～12/24(日)

写真の世紀展

2001. 1/30(火)～3/11(日)

モノクロームの世界

・新潟県民会館ギャラリーでの企画展

2001. 2/26(月)～3/20(火)

深澤素一と近代の版画・新潟の美術 2001

・共催展

2000.6/3(水)～6/11(火)

第55回新潟県美術展覧会長岡展

2001.1/5(金)～1/14(日)

第31回新潟県ジュニア美術展覧会

教育普及事業

・新潟県立近代美術館巡回ミュージアム

2000.9/22(金)～10/1(日)

紫雲寺町中央公民館

2000.10/4(水)～10/12(木)

板倉町民会館

## ・講演会等のイベント

### 講演会

2000.5/14(日) 広川松五郎・高村豊周展美術講演会

講師: 水沢 勉(神奈川県立近代美術館主任学芸員)

演題: 「新しい生活空間－1920年代日本における感覚の変容」

2000.5/20(土) 広川松五郎・高村豊周展シンポジウム

パネリスト: 樋田豊治郎(東京国立近代美術館主任研究官)

山本育夫(ミュージアム・マガジンDOME編集長)

演題: 「美術と工芸の間(はざま)」

2000.7/22(土) 麻田鷹司展講演会

講師: 横山秀樹

演題: 「麻田鷹司・那智滝と京都」

2000.8/5(土) 麻田鷹司展講演会

講師: 島田康寛(京都国立近代美術館学芸課長)

演題: 「麻田鷹司 その人と芸術」

2000.9/23(土) ナビ派と日本講演会

講師: 稲賀繁美(国際日本文化研究センター助教授)

演題: 「ナビ派とその周辺」

2000.12/2(土) 写真の世紀展講演会

講師: 平木収(写真評論家)

演題: 「ヒューマニズムと写真芸術」

2001.3/10(土) 特別講演会

講師: 水野敬三郎(当館館長)

演題: 「平等院鳳凰堂と仏師定朝」

講師:ユーリイ・ピオトロフスキイ(エルミタージュ美術館原始文化史部門副部長)

日本語通訳:新田喜代見(埼玉大学講師)

演題:「エルミタージュ美術館とそのコレクション」

## ワークショップ

5月27日(土)午前10時～／午後2時～

広川松五郎・高村豊周展ワークショップ

テーマ「工芸の文様」

担当 麻績勝広(当館主任学芸員)

会場 新潟県立近代美術館

10月21日(日)午後2時～

テーマ「発見！私の線・形・色」

担当 麻績勝広(当館主任学芸員)

中嶋 均(当館主任学芸員)

宮下東子(当館主任学芸員)

対象 一般

会場 新潟県立近代美術館 講座室

## ミュージアムコンサート

2001.3/4(日)ジャズ・イン・ミュージアム～太田幸二カルテット～

演奏:太田幸二(テナーサクソ)

深田栄広(ピアノ)

綿貫 歩(ベース)

猪股光則(ドラムス)

会場:新潟県立近代美術館エントランスホール

## 映画鑑賞会

第1回 2000.10/14(土)

アルフレッド・ヒッチコック監督作品

「サイコ」

- 第2回 2000.11/11(土)実験映画  
ヤン・シュワンクマイエル監督  
「ファウスト」
- 第3回 2000.12/9(土)「写真の世紀展」関連  
アンリ・カルティエ=ブレッソン 疑問符
- 第4回 2001.1/13(土)  
「マルタの鷹」
- 第5回 2001.2/10(土)  
三隅研次監督作品  
「斬る」
- 映画鑑賞会 2001.3/18(日)  
ジュゼッペ・トルナトーレ監督作品  
「ニュー・シネマ・パラダイス」

## ・講座

### 美術鑑賞講座

- 第1回 2000.5/13(土)  
「近代工芸誕生の時代」  
講師 藤田 裕彦(当館主任学芸員)
- 第2回 2000.6/17(土)  
「『もの派』の位置」  
講師 中嶋 均(当館主任学芸員)
- 第3回 2000.6/24(土)  
「絵巻の世界」  
講師 宮下 東子(当館主任学芸員)
- 第4回 2000.7/1(土)  
「會津八一の書」  
講師 松矢 国憲(当館主任学芸員)
- 第5回 2000.8/26(土)  
「黙示録の美術」  
講師 桐原 浩(当館主任学芸員)
- 第6回 2000.9/9(土)  
「小林古径—その人と芸術」  
講師 横山 秀樹(当館普及係長)

第7回 2000.10/7(土)

「ナビ派と日本(と二人の男)」

講師 佐々木奈美子(当館主任学芸員)

第8回 2000.10/21(土)

「大正洋画の時代/個性派台頭へ導いたもの」

講師 小見 秀男(当館学芸係長)

第9回 2001.3/3(土)

「コローとバルビゾン派」

講師 平石 昌子(当館主任学芸員)

第10回 2001.3/17(土)

「竹久夢二と『港屋絵草紙店』」

講師 小西 珠緒(当館美術学芸員)

#### 美術講座

2002.10/28(土)

「土田麦僊・京都画壇と西洋」

講師 横山 秀樹(当館普及係長)

#### 音楽鑑賞講座

2001.3.24(土)

「私の好きなレコード」

講師 前川 誠郎(当館名誉館長)

#### ・作品解説会等

##### 広川松五郎/高村豊周展

2000.4/21(金)作品解説会

2000.4/28(金)作品解説会

2000.5/5(金)作品解説会

2000.5/12(金)作品解説会

2000.5/19(金)作品解説会

2000.5/26(金)作品解説会

担当: 藤田裕彦、松矢国憲、麻績勝広

## 麻田鷹司展

2000.7/8 (土)作品解説会

2000.7/15 (土)作品解説会

2000.7/29 (土)作品解説会

2000.8/12 (土)作品解説会

2000.8/19 (土)作品解説会

担当:小西珠緒、横山秀樹、宮下東子

## ナビ派と日本

### 写真の世紀展

要請のあった団体等に対して適宜作品解説会を行った。

### モノクロームの世界

要請のあった団体等に対して適宜作品解説を行った。

## ・レファレンス

ロビーの一角にレファレンスコーナーを設け、美術図書を備え、来館者が閲覧できるよう提供している。

### 閲覧図書一覧

「世界の巨匠シリーズ」全55巻 美術出版社

「世界の巨匠シリーズ別巻」全5巻 美術出版社

「日本の水彩画」全20巻 第一法規

「日本美術全集」全23巻 講談社

「東山魁夷」全5巻 講談社

「世界の大遺跡」全13巻 講談社

「20世紀日本の美術」全18巻 集英社

「平山郁夫全集」全7巻 講談社

「現代日本の陶芸」全10巻 淡交社

「岩波 世界の巨匠」全12巻 岩波書店

「岩波美術館」全24巻 岩波書店

「国際版 世界の美術館」全 15 巻 講談社  
「エドワード・ホッパー」ベネディクト・タッシェン出版  
「アンリ・マティス」ベネディクト・タッシェン出版  
「トゥールーズ・ロートレック」ベネディクト・タッシェン出版  
「ポール・ゴーガン」ベネディクト・タッシェン出版  
「クロード・モネ」ベネディクト・タッシェン出版  
「現代美術」ベネディクト・タッシェン出版  
「新潟県立近代美術館 所蔵品目録」1993  
「大光コレクション展」1993  
「野間コレクションとその時代展」1993  
「ベルギー現代美術館」1993-94  
「佐々木象堂とモダニズム」1994  
「シリーズ新潟の美術 '94」1994  
「シカゴ美術館展」1994  
「カール・ラーション展」1994  
「山種美術館展」1994  
「佐藤哲三展」1995  
「シリーズ新潟の美術 '95」1995  
「ヨーロッパ工芸新世紀展」1995  
「子どものための美術展'95」1995  
「金鈴社の五人展」1995  
「中国現代絵画名作展」1995  
「新潟県立近代美術館 研究紀要 第1号～4号」1995～2001  
「ボテロ展」1996  
「エルミタージュ美術館特別名品展」1996  
「戦後の書・その一変相 江口草玄」1996  
「横山操・加山又造展」1997  
「シリーズ新潟の美術 '97」1997  
「国立西洋美術館展」1997  
「20 世紀美術の冒険」1997  
「近代日本画への模索と展開」1997  
「中村 彝展」1997  
「マナブ間部展」1997  
「シリーズ新潟の美術' 98」1998  
「工芸のジャポニズム」1998  
「目で、からだで、心で見る」1998



「インサイド/アウトサイド」1998  
「日本の美・間の芸術」1998  
「近代美術館とコレクション」1998  
「絵本と絵巻」1999  
「パリ・オランジュリー美術館展」1999  
「唐皇帝からの贈り物展」1999  
「横山 操展」1999  
「新潟の美術 2000 鈴木 力・柴田長俊展」2000  
水野敬三郎著「奈良・京都の古寺めぐり」岩波ジュニア新書'89 1985 岩波新書  
奈良の寺3 法隆寺金堂釈迦三尊」1992 岩波書店  
『芸術百家 第一篇～第五篇』1999～2000 朝日アーティストコミュニケーション  
『現代の絵画 Vol2～6』1996～2000 朝日アーティスト出版  
『ART BOX IN JAPAN4』全3巻 1997ART BOX インターナショナル

## ・刊行物

平成12年度展覧会案内リーフレット

平成12年度の企画展および常設展の日程、内容をまとめたもの。

◇平成12年度展覧会案内リーフレット

仕様:A4版三つ折 4色×2色 発行部数:40,000部

展覧会図録

企画展のうち、当館の単独企画の展覧会について図録を作成した。

(巡回展の図録については各企画展の項を参照)

◇広川松五郎・高村豊周展 図録

仕様:A4版 本文176ページ 発行部数:1,500部

内容:展覧会事業参照 価格:2,000円

◇ナビ派と日本 図録

仕様:B5版 本文258ページ 発行部数:1,500部

内容:展覧会事業参照 価格:2,000円

◇深澤索一と近代の版画 図録

仕様:A4版 本文72ページ 発行部数:800部

内容:展覧会事業参照 価格:1,300円

巡回ミュージアム 鑑賞の手引き

—驚き?発見!展覧会—

巡回ミュージアムに出品した全作品について解説を掲載し、観覧車への無料配布により教育「普及」効果を図った。

仕様:B6版 16ページ 発行部数:4,100部

collection guide Vol.5

「モーリス・ドニの世界—《アムール(愛)》を中心に—」

当館の所蔵作品をまとめた形で紹介・解説する小冊子。

仕様:A5版 20ページ+絵はがき4枚 発行部数:3,000部

価格:200円

県立近代美術館便り「雪椿通信」

美術館からの情報発信として一般来館者向けに編集したもの。

第14号

仕様:A4版 6ページ 発行部数:4,000部

発効日:平成12年4月1日

内容:・表紙 アルブレヒト・デューラー《メレンコリアⅠ》

・「広川松五郎 高村豊周」展/藤田裕彦

・麻田鷹司 展/小西珠緒

・「ナビ派と日本」展

・平成11年度 新収蔵品

・野外彫刻と語ろう—屋上庭園から

青木野枝(亀池・蓮池)/宮下東子

・表紙作品解説

・美術館友の会からのお知らせ

・美術連話(14)「デューラー作メレンコリアについて」/前川誠郎

第15号

仕様:A4版 6ページ

発行部数:平成12年9月1日

内容:・表紙 フェリックス・ヴァロトン《怠惰》

・「ナビ派と日本」展/佐々木奈美子

・「写真の世紀」展/中嶋 均

・深澤索一と近代の版画/松矢国憲

・モノクロームの世界/麻績勝

・野外彫刻と語ろうー屋上庭園から

松井紫朗《Voice-Scope》/宮下東子

・表紙作品解説

・美術館友の会からのお知らせ

・美術雑筆「鳳凰堂の彫刻」/水野敬三郎

#### 研究紀要

学芸員の研究成果の発表の場として作成した

研究紀要第4号

発行部数:700部

仕様:A4版 本文70ページ

内容:調査・研究を参照

#### 企画展鑑賞資料

観覧者への美術のアプローチとして作成した。

◇麻田鷹司展 鑑賞資料

対象:一般

発行部数:15,000部

仕様:A4版4ページ

内容:展示の部門ごとに、出品目録に解説を加えたもの。

担当:小西珠緒

◇ナビ派と日本 鑑賞資料

「新しい絵画への架け橋 パリと日本の画家の線・形・色」

対象:一般

発行部数:8,000部

仕様:A5版蛇腹折8ページ

内容:・線<かたち>をあきらかにすることは、線の役割のひとつです。

- ・かたち<かたち>を面であらわしたモノクロームの作品の数々
- ・色と<かたち>を配置する
- ・律動ーリズム<かたち>の繰り返しから生まれるもの
- ・「ナビ派」って？

担当:宮下東子

◇モノクロームの世界 鑑賞資料

対象:一般

発行部数:4,000部

仕様:B5版4ページ

内容:・長谷川潔略歴

・駒井哲郎略歴

・出品目録

・技法解説 銅版画(凹版画) リトグラフ(平版画)

担当:麻績勝広

年報

館の1年間の活動記録として作成した。

◇新潟県立近代美術館 年報 平成11年度

発行部数:500部

仕様:A4版 本文74ページ

内容:・平成11年度の流れ

・事業報告

・管理・運営

・新潟県立近代美術館友の会

・沿革

・ハイビジョンシステム 無料

ギャラリーⅠ 110インチの大型画面 40席

ギャラリーⅡ 60インチの中型画面 4席(車椅子スペース有り)

上映番組

・新潟県立近代美術館オリジナル番組(10)

1 カリアティードとアトランド オーギュスト・ロダン

- 2 新しい絵画への予言 ポール＝エリー＝ランソン
- 3 創造と抵抗のはざままで ケーテ・コルヴィッツ
- 4 日本洋画の開拓者たち 大光コレクション戦前編
- 5 近代日本洋画の黎明 小山正太郎とフォンタネージ
- 6 北蒲原に生きた画家 佐藤哲三
- 7 館所蔵品に見る近代日本画の画家たち

8 内なる心の美 土田麦僊

9 情熱と行動の画家 横山操

10 蠟型鑄造の世界 新潟の金工

- ・フィレンツェ・ルネサンス(ギャラリーⅠ)
- ・エルミタージュ美術館Ⅰ(ギャラリーⅠ)
- ・エルミタージュ美術館Ⅱ(ギャラリーⅠ)
- ・ハイビジョンLDエルミタージュ美術館(ギャラリーⅠ)
- ・オルセー美術館Ⅰ(ギャラリーⅡ)
- ・オルセー美術館Ⅱ(ギャラリーⅡ)
- ・和田エミ「絹の花」(ギャラリーⅡ)

※その他、展覧会の案内や催事等を情報表示画面により利用者に告知した。

・データブース 無料

32 インチ画面 ペンタブレット方式

所蔵品の内 1662 作品について検索可能 文字情報は印刷可

#### ・観覧料免除

新潟県立近代美術館規則第13条の規定に基づき、学校教育活動として観覧する場合の児童・生徒及びその引率者、心身障害者及びその介護者等に対し、観覧料を免除した。

#### ・博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生の博物館実習を受け入れた。基本的な講義と実習を例年どおり

行った他、当館所蔵の坂井コレクションを用いたミニ展覧会を企画する等、臨場感のある学芸員

体験をさせるよう試みた。学生の研究発表の場(作品解説会)では、それぞれの専攻を活かした

創造的な解説が見られ、充実した実習となった。

実習期間 2000年7月24日(月)～8月4日(金)

実習生の所属大学及び受け入れ人数

新潟大学 1名、長岡造形大学 3名、立教大学 1名、女子美術大学 1名、富山大学  
1名

明治学院大学 1名 他に栃尾市美術館学芸員(当館にて3ヶ月研修中)1名を受け入  
れた。

指導者 新潟県立近代美術館職員

担当 平石昌子、中嶋均、小西珠緒

## 収集・保存

### 平成12年度の収集

#### 「世界の美術」

##### 版画

- ・ ジャック・カロ「使徒たちの殉教」1635 エッチング(16点組) 7.2×4.6
- ・ フェリックス・ヴァロトン「ラ・ペピニエール」1893  
カラー・リトグラフ 画寸 121×90 紙寸 130×94
- ・ フェリックス・ヴァロトン「小さな浴女たち」1893  
木版画(10点組) 紙寸 11.3×14
- ・ フェリックス・ヴァロトン「エドガー・ポーの肖像」1894  
木版画 画寸 15.9×12.4 紙寸 27.0×22.3
- ・ ヘルマン・マックス・ペヒシュタイン「ある村」1918-19  
木版画(7点組) 帙寸 53.3×64.0 画寸 31.3×40.4
- ・ クルト・プフィスター著『現代ドイツ版画集』、ライブツィヒ  
オリジナル版画29点(うち木版画8点、リトグラフ15点)1920年刊行  
オリジナル版画制作年:1913-20  
書籍 33×25×2 版画紙寸 32.5×24.3

#### 「日本の美術」

- 日本画 土田麦僊「春宵舞妓図」1923 絹本彩色軸装 36.0×42.3
- 日本画 横山 操「TOKYO」1968 紙本彩色額装 180×181
- 日本画 平松 礼二「ノルマンディの夢の季」1998 紙本彩色額装 112.1×162.1  
「ノルマンディ墨色(エトルタ)」1999 絹本彩色 六曲一隻屏風 180×420
- 中野 嘉之「野火」2000 紙本彩色 六曲一双屏風 各々208.5×421  
「生命の讃歌―鹿(黒月)」2000 紙本彩色額装 220×110  
「生命の讃歌―鹿(白月)」2000 紙本彩色額装 220×110
- 洋画 吉原 治良「静物」1929 頃 油彩、カンヴァス 116.5×91
- 版画 『現代の洋画』第23号 1914  
太田三郎「カフェーの女」1914 インク、紙、木版画、多色刷り 画寸 20.7×11.4  
岡本帰一「静物」1914 インク、紙、木版画、多色刷り 画寸 12.8×15.6  
「夕の街路」1914 インク、紙、木版画、多色刷り 画寸 13.9×15.2  
「風景」1914 インク、紙、木版画、多色刷り 画寸 12.4×18.5  
池田永治「早春」1914 インク、紙、木版画、多色刷り 画寸 11.5×14.3  
深澤 索一「わらびと筍」1930年代 インク、紙、木版画、多色刷り 画寸 33.1×42.6
- 工芸 津田 信夫「鑄銅鳳凰置物」1939-40 鑄銅、墨、ラッカー、ファイバー・ボード  
39.8×21.5×9.8(H×W×D)
- 書 比田井南谷「作品 25」1956 73.0×91.0  
「作品 64-25」1964 墨、鳥の子 127.8×93.5
- 写真 渡辺 義雄「法隆寺西院伽藍」1972 以前  
モノクローム・プリント 画寸 41.9×52.9 紙寸 45.0×55.6  
「法隆寺金堂(西南面)」1967/2001  
モノクローム・プリント 画寸 42.7×54.0 紙寸 45.5×55.0  
「法隆寺金堂(背面)」1972 以前  
モノクローム・プリント 画寸 42.7×50.9 紙寸 45.5×55.0  
「法隆寺金堂の下層の雲斗\*」1971/2001  
モノクローム・プリント画寸 42.8×53.0 紙寸 45.5×56.3  
「法隆寺金堂の内部」1970 頃/2001  
モノクローム・プリント 画寸 41.9×52.8 紙寸 45.5×55.5  
「法隆寺金堂の内部」1971/2001  
モノクローム・プリント 紙寸 45.4×56.3  
「法隆寺五重塔(東北面)」1972 以前/2001

- モノクローム・プリント 画寸 49.9×42.7 紙寸 54.0×45.6
- 「法隆寺南大門より中門・五重塔を望む」1972 頃／2001
- モノクローム・プリント画寸 53.0×42.8 紙寸 56.3×45.5
- 「法隆寺南回廊と中門」1972 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 53.0×42.7 紙寸 56.3×45.5
- 「法隆寺東室内部」1972 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 42.0×52.6 紙寸 45.5×56.2
- 「法隆寺夢殿(正面)」1970／2001
- 「薬師寺東塔(北西面)」1970 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 52.8×42.0 紙寸 55.6×45.5
- 「興福寺北円堂の宝珠と露盤」1969 以前／2001
- モノクローム・プリント画寸 52.9×42.0 紙寸 55.6×45.5
- 「興福寺北円堂内部の天井」1969 以前
- モノクローム・プリント 画寸 52.9×41.9 紙寸 56.4×45.4
- 「東大寺南大門(正面)」1970 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 35.0×53.0 紙寸 39.5×56.0
- 「東大寺南大門内部構架」1969／2001
- モノクローム・プリント画寸 52.9×41.9 紙寸 56.2×45.5
- 「東大寺大仏殿の内部」1970 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 48.0×42.7 紙寸 52.1×45.8
- 「東大寺鐘楼(西面)」1970 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 42.0×52.9 紙寸 45.6×56.3
- 「東大寺大湯屋の釜屋構架」1970 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 52.9×40.9 紙寸 56.3×45.5
- 「唐招提寺金堂の夜景(正面)」1967／2001
- モノクローム・プリント 画寸 38.5×53.0 紙寸 42.5×55.5
- 「唐招提寺金堂の内部」1967／2001
- モノクローム・プリント 画寸 42.0×53.0 紙寸 45.4×56.2
- 「唐招提寺金堂内部の天井」1969 以前／2001
- モノクローム・プリント画寸 53.0×42.7 紙寸 56.0×45.6
- 「唐招提寺講堂内部の天井」1969 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 42.7×51.6 紙寸 45.4×58.2
- 「当麻寺東塔(東面)」1978 以前／2001
- モノクローム・プリント 画寸 42.7×48.5 紙寸 45.6×52.5
- 「当麻寺本堂(曼陀羅堂)(正面)」1978 以前
- モノクローム・プリント 画寸 36.9×53.1 紙寸 40.1×56.5



- 「当麻寺本陣の内陣当麻曼陀羅厨子」1978 以前／2001  
モノクローム・プリント画寸 42.8×53.0 紙寸 45.5×56.3
- 「元興寺極楽坊禅室の内部」1977 以前／2001  
モノクローム・プリント 画寸 42.0×52.9 紙寸 45.9×56.3
- 「元興寺極楽坊禅室の内部」1977 以前／2001  
モノクローム・プリント 画寸 52.9×42.6 紙寸 56.2×45.5
- 「浄瑠璃寺本堂(正面)」1978 以前／2001  
モノクローム・プリント 画寸 38.5×53.0 紙寸 42.5×56.3
- 「浄瑠璃寺本堂の内部」1978 以前／2001  
モノクローム・プリント 画寸 42.0×52.9 紙寸 45.5×56.2
- 「『戦中・戦後の東京』豊島区雑司谷町」1945／2001  
モノクローム・プリント 画寸 27.1×40.5 紙寸 31.1×42.9
- 「『戦中・戦後の東京』文京区竹早町」1945／2001  
モノクローム・プリント 画寸 27.1×40.3 紙寸 31.0×42.9
- 「『戦中・戦後の東京』文京区竹早町」1945／2001  
モノクローム・プリント画寸 27.1×40.3 紙寸 31.1×42.9
- 「『戦中・戦後の東京』半地下壕, 1945 年 8 月」1945／2001  
モノクローム・プリント画寸 27.1×40.3 紙寸 31.1×42.9
- 「『戦中・戦後の東京』半地下壕, 1945 年 8 月」1945／2001  
モノクローム・プリント画寸 40.3×27.1 紙寸 40.3×31.1
- 「『戦中・戦後の東京』浅草震災記念堂をのぞむ, 1945 年9月」1945／2001  
モノクローム・プリント画寸 27.1×40.4 紙寸 31.2×43.0
- 「『戦中・戦後の東京』国会議事堂, 1945 年9月」1945／2001  
モノクローム・プリント画寸 27.1×40.4 紙寸 30.5×42.9
- 「『戦中・戦後の東京』焼けた銀座通り, 手前は三越奥は松屋」1945／2001  
モノクローム・プリント 画寸 27.1×40.4 紙寸 30.6×43.0
- 「『戦中・戦後の東京』銀座, 1946 年 7 月」1946／2001  
モノクローム・プリント 画寸 40.3×27.1 紙寸 42.9×31.2
- 「『戦中・戦後の東京』新宿, 1946 年」1946／2001  
モノクローム・プリント 画寸 40.5×26.9 紙寸 43.1×31.0
- 「ローマ, 文化宮殿」1956／2001  
モノクローム・プリント 画寸 40.4×27.1 紙寸 42.8×31.2
- 「ミラノ, ドゥオモ」1956／2001  
モノクローム・プリント 画寸 40.3×27.1 紙寸 42.9×31.1
- 「ヴァチカン市国 サンピエトロ大聖堂」1956／2001  
モノクローム・プリント 画寸 32.6×32.6 紙寸 37.0×35.4

「フィレンツェ, アカデミア美術館」1956/2001

モノクローム・プリント画寸 32.5×32.5 紙寸 36.0×35.4

「内宮御正殿北側全景と東宝殿・西宝殿の軒」1953/2001

モノクローム・プリント画寸 35.7×51.6 紙寸 39.8×55.9

田中一光 「サルヴァトーレ・フェラガモ展『華麗なる靴』(5点)(第1回亀倉雄策賞受賞作品)」

1998(平成10) ポスター B1 3種類 BO 2種類

永井一正 「Life(6枚組2セット)(第2回亀倉雄策賞受賞作品)」1999(平成11年) ポスター-B1

103.3×73.3

### 「新潟の美術」

日本画 尾竹越堂「渡し」大正初期 紙本彩色 六曲一双屏風 各々172.5×24.0

「浜辺図」明治後期 紙本彩色軸装 36.5×63.5

「船遊び」大正前期 絹本彩色軸装 130.5×41.0

「桃太郎」1992(大正11)絹本彩色軸装 127.7×41.5

「竹図」1931(昭和6)紙本墨彩軸装 137.5×45.5

尾竹竹坡「鳳凰と麒麟」1914(大正3)紙本墨彩軸装双幅 各々119.8×40.6

尾竹国観「瓢箪から駒」昭和初期 絹本彩色軸装 128.2×41.8

油彩画 高村真夫「裸婦」1921(大正10) 油彩, カンヴァス 117×91

佐藤哲三「柿を持つ女」1934(昭和9) 油彩, カンヴァス 74.2×45.2

「柿」1952-53(昭和27-28)頃 油彩, カンヴァス 58.5×30.5

鈴木 力「海に向かって(シシリア)」1999(平成11) テンペラ, 板パネル, 麻

彫刻 島田 美晴「牙彫蓮置物」不詳 象牙 70×17.5×9.0

北村 正信「裸婦立像」不詳 大理石 56.0

工芸 齋藤三郎 陶磁器等60点

資料 齋藤三郎 5点

## 調査・研究

### ・研修

#### 第 10 回現代美術専門研修会(第一年次)

「公・私立美術館・博物館において近現代美術や西洋美術に関する展覧会の企画、展示品の取り扱い及び保存管理等担当する学芸員等を対象に、専門知識・技術の向上を図る研修を行い、もって美術館・博物館の活動の充実に資する。」以上の趣旨により開催された研修に、例年どおり当館から学芸員1名が参加した。

内容 文化行政(登録美術品制度)／美術館の現状と展望／美術館の事業活動／展覧会の実施

会期 平成 12 年 11 月 6 日(月)～11 月 10 日(金)

主催 文化庁, 国立国際美術館

会場 国立国際美術館

参加者 小西珠緒(当館美術学芸員)